

千葉市感染症発生動向調査情報

2012年 第5週 (1/30-2/5) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		5週	4週	3週	2週
小児科		16	17	17	17
眼科		4	5	4	4
インフルエンザ*		26	27	27	27
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	1/30-2/5	1/23-1/29	1/16-1/22	1/9-1/15	1/23-1/29
			5週	4週	3週	2週	4週
小児科	RSウイルス感染症		4	5	6	8	34
	咽頭結膜熱		1	0	1	2	33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	24	40	47	376
	感染性胃腸炎		121	120	206	185	1,376
	水痘		14	34	27	38	183
	手足口病		2	1	1	2	21
	伝染性紅斑		2	5	5	2	13
	突発性発しん		8	10	10	7	77
	百日咳		0	0	0	0	4
	ヘルパンギーナ		0	2	0	0	5
	流行性耳下腺炎		5	3	0	4	25
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザ*を除く)	★★★◎	1,201	878	506	118	7,992
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		3	4	0	3	30
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		1	5	4	6	6
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1	3	4	4	3

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	病原体等の検出	結核	女性	50歳代	QFT
結核	男性	40歳代	QFT	結核	女性	80歳代	病原体遺伝子の検出等
結核	男性	70歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び意識障害
結核	男性	80歳代	病原体の検出	後天性免疫不全症候群	男性	40歳代	血清抗体の検出
結核	女性	50歳代	QFT	後天性免疫不全症候群	男性	50歳代	血清抗体の検出
結核	女性	50歳代	QFT	-	-	-	-

・結核8件(27)、急性脳炎1件(4)、後天性免疫不全症候群2件(3)の報告があった。

()内は2012年累積件数

※ 累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第5週のコメント

<インフルエンザ> 前週より更に増加し46.19となった。過去10年間の同時期と比較すると最多。

トピック

<インフルエンザ>

2011年の今シーズンの全国レベルは、2012年第4週現在過去5年間の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、福井県、高知県、愛知県の順で報告が多くなっています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めですが、関東地方で最多となっています。千葉市は、2012年第5週は前週より更に増加し46.19となり、過去10年間の同時期と比較すると最多となりました。型別迅速診断結果では、A型が78.0%を占めており、B型が14.5%と増加しています。年齢階級別に見ると、10～14歳、6歳、7歳の順で報告が多くなっている他、30歳代以上や幼児において例年より多めの割合となっています。区別の発生状況では、稲毛区を除く全ての区で流行発生警報基準値(30.0/定点)を上回っています。中央区及び美浜区で発生が多く、共に10-14歳が最多となっています。全国的に検出されているウイルスは香港型(A/H3N2)が大半を占めており、この型は低年齢層では免疫がなく感染しやすい他、高齢者が感染すると重症化しやすいと言われてい

ます。

ワクチンは、接種してから効果が表れるまで2～3週間かかるとされていることから、早目の対策を心がけましょう。

これから気温が一層低下することから、感染防止の注意が必要です。予防として、家庭内のみならず、外出先においてもこまめに手を洗うなど基本的な予防の励行のほか、十分な栄養と睡眠をとるなど普段から免疫力を高めておくことも大事です。

また、感染した場合は、周囲へ感染を広げないよう、外出を控える他、マスクを着用する等の咳エチケットを守ることが重要です。

<咳エチケット>

○咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

○鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。

○咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

※咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で市販されている不織布(ふしよくふ)製マスクの使用が推奨されます。N95マスク等のより密閉性の高いマスクは適していません。

※一方、マスクを着用しているからといって、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけではありません。

※マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。

